

2020年6月16日



キリスト教センター 通信 Vol.4



激励メッセージリレー

タイトル 『新しいこと 知らないところ 初めて会う人』

キリスト教センター長 ミカエル 藤倉哲哉 先生

大学生になったときのことを思い出すと、周りは誰も知らない、どこも初めての場所で、毎日がとても楽しかった…。同じ高校の友達はいなかったけれど心細いとは思わなかったし、クラスの友達とはいえば、初めて声をかけられて帰りに喫茶店へ行き、翌日の授業では隣に座っていました。

新しい日々が始まり、知らないところへ行き、初めて会う人がいる…。みなさんは楽しいと思いませんか。初めてだから不安を感じる…という人もあるかも知れませんが、初めてだから面白いとは言えないでしょうか。確かに、知っているから安心だといえそうですが、そればかりでは退屈です。人は与えられるものをただ受けているだけでは満足せずに、やがて自ら新しいものを求めるようになるのです。

学ぶということは、新しいことを知ること、好奇心や探究心はまさに新しいことを知ろうとする欲求であり、大学のキャンパスはその心を満たすための場です。知っていることを今さらのように教わっても楽しくありません。新しい友達と、もっと新しいことを、これまで知らなかったことを自ら求めて過ごしてみませんか。

「だって、知らない人と一緒だと気まずいじゃないですか…」なんて言わないで。

キリスト教 一口メモ



さんいったい
「三位一体」

この言葉は、「三者が協力して一つになる」という意味でよく使われていますが、もともとは、キリスト教の神を「父・子（イエス・キリスト）・聖霊の神」というように、キリスト教の教義を表す言葉です。礼拝では、洗礼、信条(経)、祝福の祈りの中などで用いられています。つまり、聖書を読んだだけでは、ピンと来ないかもしれませんが、キリスト教の教会の歴史・伝統という点から考えると、中心(心棒)になる言葉なのです。さて、質問です。この言葉を、英語で何と叫ぶのでしょうか？本学とつながりのある大学の名前になっていますよ。探してみましょ。

新型コロナウイルスの被害を覚えるお祈り

どうか、皆さんもお時間があるときにお祈りください

神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中にあるすべての神戸国際大学の学生のみさんのために祈ります。

どうか、彼ら彼女ら一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力が与えられ、今できることを考え、神さまの、み心になかった正しい行動を心がけることができますように。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈り、求め続けることができますようにお導きください。

このお祈りを、主イエスさまの、み名によっておささげいたします。アーメン

病に苦しむ人のための祈り

慈悲の父、慰めのもとである神よ、現在、新型コロナウイルスに感染し、痛みや苦しみ、不安や悲しみの中にある人のために献げる祈りをお聞きください。

どうか病で困難や不安の中にある人を憐れみ、み恵みによってその体と心を強め、病を癒してください。

また、医師と看護する者とを助け導き、その働きを支えてください。

そして、何もできずに不安と悲しみの中で苦しむご家族やご友人、また、私の心も神さま、あなたが愛によってお救いください。

主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

離れている大切な人を覚える祈り

愛なる神さま、あなたは、み手を伸べていつも私たちをお守りくださいます。どうか、遠く離れて暮らす家族や友人を様々な困難な状況からお守りください。

そしてこの不安定な世界において、必要な糧が与えられますように。心と体が守られ、健やかに日々を過ごすことができますように、どうかあなたがお支えください。

また、不安の中で医療に従事する人々のために祈ります。どうか一人ひとりの働きが祝福され、感染者の回復を助け、支える力をお与えください。そして彼らが感染から守られ、新型コロナウイルスの終息に向かうことができますように。

この小さなお祈りをイエスさまによってお願いいたします。アーメン